

タブレットP C活用授業記録

竹原市立中通小学校

□ 本時の概要

授業日	平成 25 年 4 月 24 日 (水)	学年	第 6 学年	教科等	理科
単元名	ものが燃えるとき				
本時の目標	空き缶に入れた割り箸の燃焼実験を安全に行い，結果を記録することができる。				
活用アプリ等	カメラ（動画） Dropbox				

□本時の展開

児童の活動	主な発問・指示（◇）及び児童の反応（・）	指導上の留意点（○）
安全に気を付けて実験を行い，結果を正確に記録しよう。		
1 実験方法を確認する。	◇火をつける人とタブレットP Cで記録する人に分かれて，安全に実験を行いましょう。	○実験の様子をタブレットP Cで録画することを告げる。
2 3～4 人のペアで実験を行う。	・穴を上を開けたA，真ん中に開けたB，下を開けたCでは，どれが一番よく燃えるかな？ ・燃える様子を動画として記録しよう。	○タブレットP Cの扱いには気を付けさせる。（記録担当者を決める）
3 教室に帰って実験の映像を視聴し，結果を記録・分析する。	◇映像を見ながら，結果をノートに記録しましょう。 ・Cが一番よく燃えたよ。だって… ・何度も再生するとよくわかるね。	○燃えた後の様子も静止画として記録させる。 ○映像を何度も見ながら，気付いたことをノートにまとめさせる。
4 結果を交流し，Cが一番よく燃えた理由を話し合う。	◇なぜCが一番よく燃えたのでしょうか。 ・新しい空気が下からどんどん入ってくるから。	○必要に応じて，Drop box に保存されたそれぞれのグループの映像を全体で視聴する。



□ 本時の授業について（授業者のコメント）

理科の授業では，実験を行った後，結果をノートやワークシートに記録することが多い。その際，実験は一度きりしか実施できないため，児童は記憶をもとに記録を行うことになる。記憶が曖昧であると，正確な記録ができないことも多い。その点タブレットP Cを活用すれば，この問題点が解決できる。今回のような野外で火を扱う実験であっても，事前指導を徹底しておけば，児童は有効にタブレットP Cを活用し，学習を深めていくことができる。